

# 12月 園だより

令和2年12月1日(火)

尚徳福祉会 井荻保育園

菅野 智恵子

早いもので今年最後の月、12月となりました。この一年「新型コロナウイルス」という目に見えない病気に、私たちは大きな不安を抱えた日々を送ってきました。今また第三波の到来で、危機感を強めざるを得ません。

そんな中ですが、井荻保育園の子どもたちは大きく体調を崩すことなく、園に通って来てくれています。先月は好天に恵まれ、各クラス戸外あそびを十分に楽しむことができました。秋の自然の中、体を動かして遊んだり、収集した自然物で制作し、お部屋を彩っています。また、幼児クラスは遠足にも出かけました。3歳児は善福寺公園におにぎり散歩。4歳児はお弁当を持って原っぱ公園へ。5歳児はバスで東伏見公園へ。いずれも良い天気の中、保護者の方が作って下さったお弁当（おにぎり）を一番の楽しみにし、思い切り自然の中で遊んできました。準備や登園時間等のご協力、ありがとうございました。

今月は本格的に寒さも厳しくなります。コロナ対策を始め、空気の乾燥に留意し、戸外遊び前には体を十分温め、ケガ予防にも取り組んで行きたいと思います。

ご家庭にも協力いただくこともあるかと思いますが、よろしく願いいたします。

## 今月の予定

- 4日(金) お楽しみ会
- 9日(水) おばさんず(4, 5歳児)
- 11日(金) 5歳児劇発表会・保護者会
- 15日(火) 大原さんの会・乳児身体測定
- 16日(水) 幼児クラス身体測定
- 17日(木) 歯科検診(全園児)  
歯磨き指導(4, 5歳児)
- 22日(火) 避難訓練
- 28日(月) 保育納め

12月29日から1月3日まで

保育園は休園となります。

## お知らせ

★後期保護者会の日程をお知らせいたします。

- 0歳児 1月29日(金) 13:30~14:30
- 1歳児 2月27日(土) 10:00~11:00
- 2歳児 2月13日(土) 10:00~11:00
- 3歳児 2月10日(水) 10:00~11:20
- 4歳児 2月 5日(金) 10:00~11:20

※1歳児・2歳児の日程が4月にお配りした年間予定表から変更になっております。よろしく願いいたします。

※保護者会の開催は予定となっております。その時期になり、コロナの感染拡大の状況に合わせ、対応させていただきたいと思います。詳細については後日お知らせいたしますので、よろしく願いいたします。

### ★トムテさんの職員研修★

先月、トムテの笠井先生に職員全員で研修を受けました。幼児クラスの木のおもちゃがすべてホールに集合。木のおもちゃの素晴らしさについてレクチャーを受けた後は、実際に遊んでみました。初めのうちはぎこちなかった職員ででしたが、遊ぶうちにいつの間にか隣の人とイメージを共有しながら、大掛かりなものを制作。一人、心を無にしながら作る職員も。持ち寄ったおもちゃを使いきり、そこで終了となりましたが、全員が「楽しかった」と大満足。仲間と時間と空間の「三間」。それが子どもを育てる、遊びを発展させるキーワード。職員自ら体験して学んだことでした。子どもの気持ちになって楽しんだひと時。その思いを今後の保育に活かしていきたいと思います。そして、木のおもちゃが充実している井荻の素晴らしい環境に改めて感謝いたしました。

## ＜すこやか保育＞その2 ★遊びは成長の大事な体験★

### 「いたずら」ではなく「好奇心」

大人にとっては「いたずら」としか見えない行動も。子どもにとっては「なぜだろう?」「どうなるかな?」と言う好奇心の表れ。この「好奇心」こそ、自分で考えて行動する力の芽生えであり、成長の大切なベースです。

あぶないことは「ダメ」「やめなさい」と、ただやめさせるのではなく、「ポットにさわると熱いお湯が出るから」等、きちんと理由を説明してあげることが大切です。そうすると「怒られるからやめる」のではなく、「危ないからやらない」というように、自分で考える力が育っていきます。

### 「友だちと遊べない」と心配するのはまだ早いかも

2～3歳頃は、すぐ隣に友だちがいても別々に遊んでいたりします。「お友だちと遊んでいない」と心配になるかも知れません。でも大丈夫。同じ時間、同じ空間にいることをその子なりに楽しんでいるのです。自分のペースや感性で一人遊びをする体験はとても大切です。

やがて、他の子の遊びにも関心が向き、おもちゃのとりあいや譲り合いなどを経験しながら「交流」へと発展していきます。でもまだ相手の気持ちをわかるには難しい年齢です。「仲良く遊ぶ」にはもう少し成長を待ちましょう。

### 「ルールが分かるように」

3歳くらいになると、お友だちとひとつの遊びと共有できるようになっていきます。おもちゃや遊具の取り合いでケンカになることもありますが、その経験の中で「順番」や「貸し借り」などのルールに気付いていきます。

子どもは気持ちを言葉でうまく言い表せないこともあります。そんな時は大人が子どもの気持ちを代わりに

言ってあげると、少しずつ相手の気持ちや思いに気付けるようになっていきます。

### 「ケンカは成長の大事な一過程」

子ども同士の関わりは、大人とは違い、真剣で遠慮がないものです。思いがぶつかることはよくありますが、大人とではできない体験ができること、それがとても大事です。

ケンカは相手の思いに気づけるチャンスです。感情のぶつかり合いによって心に痛みを感じることもありますが、その体験を通して相手の痛みにも気づくようになります。

### 「人との関わり方もその子なりに」

子どもの中には集団に入るのが苦手な子もいます。そばでじっと見ていたり、誰かにくっついていたり、**自分のやりかたで人との関わりを学んでいます。**

集団の中にいないからと無理強いはせず、その子なりの遊び方を見守っていきたいですね。